2026年 11月 9日

各 位

会　社　名　あすか製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長 山口 惣大
（コード番号 4886 東証プライム）
問い合わせ先　グループ経営推進部長 市川 学
（TEL. 03-5484-8366）

AMED「難病・希少疾病治療グローバル研究開発支援事業（GRiT）」採択に関するお知らせ
―AKP-021のIC/BPS患者を対象とした第II相臨床試験に向けた開発を推進―

当社の子会社である、あすか製薬株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：山口惣大、以下「あすか製薬」）は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）が実施する令和 8 年度「革新的医療技術研究開発推進事業（産官学共同型）グローバルタイプ（難病・希少疾病治療グローバル研究開発支援事業）」（以下「GRiT 事業」）において、当社の研究開発課題「AKP-021 の IC/BPS 患者を対象とした有効性の検証及び安全性の評価に関する研究開発」が採択されましたので、お知らせいたします。

GRiT 事業は、難病・希少疾病領域における医薬品等の研究開発を支援し、日本発の革新的な治療法の実用化を促進することを目的とした事業です。今回の公募では 25 課題の応募があり、8 課題が採択されました。

間質性膀胱炎・膀胱痛症候群（IC/BPS）は、耐えがたい膀胱の痛みや頻尿・尿意切迫感などの症状を特徴とする慢性疾患です。患者さんの生活の質（QOL）に大きな影響を及ぼす一方、治療選択肢は限られており、アンメットメディカルニーズの極めて高い疾患であることから、新たな治療薬の開発が求められています。

AKP-021 について

AKP-021 は、あすか製薬が独自に創製した、膜結合型プロスタグランジン E 合成酵素-1（microsomal prostaglandin E synthase-1：mPGES-1）を選択的に阻害する新規化合物です。mPGES-1 は、炎症や痛みに関与するプロスタグランジン E2（PGE2）の産生に関わる酵素です。AKP-021 は、mPGES-1 を選択的に阻害することで PGE2 の産生を抑制します。この作用機序に基づく、新たな IC/BPS 治療薬の選択肢となることが期待されています。

今回の採択の意義と今後の展開

あすか製薬は、これまで培ってきた泌尿器疾患領域における知見と開発経験を活かし、IC/BPS に対する新たな治療薬の創出を目指して AKP-021 の研究開発を進めてまいりました。今回の GRiT 事業への採択を重要な開発上のマイルストーンと位置づけ、本事業の支援を活用しながら、第 II 相臨床試験の開始に向けて準備を進めてまいります。今後も、IC/BPS に苦しむ患者さんに新たな治療選択肢を一日でも早くお届けできるよう、AKP-021 の研究開発を着実に推進してまいります。

なお、本件による当社の 2027 年 3 月期連結業績への影響はございません。

以 上